

# まだ旅立ってもいないのに

作・森馨由 かおる

## 登場人物

早坂 真奈美 (37歳) / 耶宵の弟の妻

早坂 耶宵 (42歳) / 真奈美の義理の姉

早坂 徹 (35歳) / 耶宵の夫で、真奈美の弟(登場しない)

林田 誠一 (35歳) / 早坂家の勝手口で死んでいる男(登場しない)

☆ 開幕

長崎県佐世保市にある早坂家のお茶の間。  
時刻は午後三時頃。  
その場には早坂耶宵がおり、携帯電話で話している。

耶宵 うん。解つとる。うん。お父さんの件、明日になったけん。うん。いや、今日は

夜勤明けでウチが居おったと。真奈美ちゃん、用事のあるって出掛けとらすばい。  
うん。いや、夕方頃に戻るって。はいはい。帰ってこらしたら伝えとく。アンタ  
の帰りは明後日ね。わかつとる。はいはい。

☆ 耶宵、電話を切り、カレンダーまで歩く。

耶宵 明後日、か。

真奈美 (声のみ) ぎゃあああ！

☆ 耶宵、ドアから台所を覗く。

耶宵 ごめーん、真奈美ちゃん。勝手口から入れんちゃん！ 玄関から回って来て。

真奈美 (声のみ) いやー！ こ、これっ、なに？ 誰？ なんで、こがんとこに……？

耶宵 よかけん、ちよつと玄関回って、あがつて来んね。

真奈美 (声のみ) なんで、耶宵ちゃん、そがん落ち着いとると？

耶宵 落ち着いとらん。ウチだつてアンタと同じぐらい驚いたとばい。せいけど、一人や  
けん、いくら叫んでも誰もリアクションしてくれんし。取り敢えず、アンタが  
帰つてくるとば待つとつたと。

真奈美 (声のみ) ななな、何で……？ 私ば待つより、け、警察に……、電話……！  
耶宵 良かけん、ちよつと上がつておいでつてば。

☆ 沈黙。裏から真奈美が移動してくる音。

程なくして、ドアから真奈美が入ってくる。

真奈美 あいは、なんね？ まっ、まさかつ！ 耶宵ちゃんっ？

耶宵 あっ、なんね？ その目は？ ウチば疑つとると？

真奈美 いや……。耶宵ちゃんがそがん事するはずなか。ウチは耶宵ちゃんば信じとるよ。  
耶宵 当たり前やろっ。ウチだつて、なんでこがん事になつとるか解らんちゃん。朝、  
お父さんばデイケアに送り出してから、すぐ寝てしもうたけん。今、三時やろ？

真奈美 ウチ、一時間ぐらい前に起きて、洗濯機ば回したと。洗濯物はそがん溜まつとらん  
やつたけど、仕事の制服とかあるけんさ……、  
耶宵 ちゃん、ごめん。話の逸れて行きよる。

真奈美 あっ、そっか。……えつと、なんやつたつけ？

耶宵 あいは何ね、つて聞いたとさ。あの、勝手口で倒れとる男！

真奈美 そうそう。洗濯機ば回して、そんで、洗濯の終わった音のしたけん、干そうと  
思つて、ちよつと台所ば覗いたら、勝手口んとこに倒れとらしたと。

耶宵 はあ？ そがん事のあるもんね！  
だつて、ホントやもん。

真奈美　じゃあ、なんね？　あん人が背中に包丁刺して、勝手に倒れとらしたって言うのと？  
耶宵　勝手口だけにね。

真奈美　そがん、しょんなか冗談言いやらんで。早う警察に電話せんね！

耶宵　なんて？

真奈美　なん、って…、

耶宵　「見知らぬ男が背中に包丁ば刺して、勝手口に倒れてます」って言うのと？

真奈美　そいが本当なら、そがん言うしかなかやる？

耶宵　ぎゃん事言うたら、警察にがらるっばい。そいに、ホラ。

☆　耶宵、先ほどから手に持っていた紙を真奈美へ差し出す。

真奈美　なん、これ…？

耶宵　あの人のポケットに入っとったつちちゃん。

真奈美　はっ？　そがん、勝手に触ったらダメやる！

耶宵　ちよつと読んでみらんね。

真奈美　いやばい！　指紋の付くけん触わらん！

耶宵　もう、アンタ、小心中やね。そいぎん読んでやるけん。（紙を見る）「僕を発見して

くれた方へ。この度はご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。ですが、警察

へ通報するのは、少しだけお待ち下さい…」

はっ？　ナンでっ？

真奈美　続きば読むけんが。えーつと、「僕はある女性に殺されました…」

耶宵　ある女性…？（耶宵を見る）

真奈美　…私じゃなかよ？

耶宵　あ、うん。もちろん。

真奈美　間違いない、ウチば疑つとるよね？

耶宵　いや…。耶宵ちゃんがそがん事するはずなか。ウチは耶宵ちゃんば信じとるよ。

真奈美　ともかく、続きば聞かんね。えーつと、「僕はある女性に殺されました。僕を刺し

た可能性のある女性は二人です。一人は僕の妻。もう一人は僕の愛人です。僕を

発見された方にお願ひしたいのは、どちらの女性が僕を殺したのか、真実を突き

止めて欲しいのです」

真奈美　…：はい？　なに、それ？　耶宵ちゃん、ふざけよると？

耶宵　いや、そう書いてあるつちやもん。

真奈美　そがんとオカシかやる？　じゃあ、あの人は、殺される前提で、そがん変な手紙ば

持ち歩きよつたつてコト？

耶宵　まあ、遺書ば用意しとつたつて事は、殺される覚悟はあつたつて事やろうね。

真奈美　いやいや。意味解らんし。

耶宵　えーつと、「真実を突き止めて…」まで読んだね？　「そして、もし愛人が僕を

殺した場合、僕の胸を開いて、彼女に心臓を渡してください」

真奈美　ちよつ、ちよつ、ちよつ！

耶宵　アンタ、イチイチ、合いの手のうるさかあ！

真奈美　なん、それ？（耶宵から紙を奪い取る）耶宵ちゃんが考えたネタじゃなかと？

そこにちゃんと書いてあるやろうもん。

真奈美　（紙を見る）えーつと、「もし妻が僕を殺した場合、頭部を切り取って妻に

渡してください。何故なら、愛人は僕のハートが欲しいと言っていたし、妻は僕の

顔が好きだと言っていたからです」いやいやいや、それ意味ちがうやろっ。

耶宵 ……ふと思っただけど、下半身は？ ドツチかに渡さんでいいとかいな？  
真奈美 この状況で、よく、そがん冗談言えるね？

耶宵 だって、考えようによつては、一番大事な部分やろ？

真奈美 やめんね、もう！ えーっと、「僕は、僕を殺すほどに愛してくれた女性に、一番  
欲しかった僕をあげたいのです」……はあー、マジですかあ。

耶宵 その後に、妻と愛人の特徴が書いてあるとけどさあ。

真奈美 いやいや！ ナンで乗り気なん？ こがんとヤバかって！

耶宵 でもさ、気になるやろ？ 妻と愛人。果たして、犯人はドツチだ？

真奈美 犯人は警察が見付けてくれらすさ。

耶宵 犯人が妻なら頭、愛人なら心臓ば渡さんといかんとよ？ 警察がそこまでやって  
くれるやろうか？

真奈美 がんこと、警察のすつわけなかるうもん。

耶宵 やろ？ ね？ あの人が、ココで死んだのも何かの縁やしさ。

真奈美 いやいや。

耶宵 それに、これは、立派な遺言状なんやけん。無下にしたら祟られるばい。

真奈美 やとしても、犯人捜しなんか、素人にはムリばい。そもそも、何である人はココに  
居ると？ 耶宵ちゃんが家に入れたつちやなかと？

耶宵 ううん。つてか、勝手に入ったつちやなかとかね？ ……勝手口だけに。

真奈美 もう！ ふざけよる場合じゃなからつ！

耶宵 ごめんごめん。つてかさ、勝手口の鍵、開けとつたけん。アンタが帰って来た時も、  
勝手口、開けとつたやろ？

真奈美 開いとつたけど。つてか、何で開けつぱにすると？ 危なかない！

耶宵 いや、どうせ、ウチは家の中で寝とるし、勝手口は、よっぽど親しか人しか使わん  
けんさ。

真奈美 そいけど、鍵かけた方が良かばい。

耶宵 お父さんが居る時は、ちゃんとかけよる。いつ出て行くかわからんけんね。

真奈美 つてか、耶宵ちゃんが部屋で寝とる間に、台所で、あの人が殺されたつてコト？

耶宵 そうやろうね。じゃなかったら、外で刺されて、勝手口から入って来たか……。

真奈美 けど、ウチ、全然、気付かんかったよ。いやあ、もう、ビククリしたっ。

耶宵 でも、そがん状況なら、……やっぱり容疑者は限られてくるつちやなかと？

真奈美 え？ 誰？ 妻？ 愛人？

耶宵 ……：…：…。（耶宵を指差す）

真奈美 つはあ？ 何でねっ？

耶宵 いや！ ウチは耶宵ちゃんば信じとるよ？ 耶宵ちゃんがそがん事するはずなか。  
でも、いくら何でも、部屋で寝とつて気付かんかったつて言い分は、警察には通用  
せんつちやなかな？

真奈美 だって、本当やもん！

耶宵 ……：…：自首した方が、罪は軽くなるらしいかよ？

真奈美 勝手に人ば犯人にせんで！

耶宵 うん。ウチは耶宵ちゃんば信じとるよ？ けどね……。

真奈美 うわー、ムカつく！ つて、まあ、そがんバカ話はともかく。少し推理に付き  
合つてくれんね。

耶宵 えっ？ イヤばい！ 絶対、通報した方がよかって！

真奈美 でも、気になるやん？ すぐに通報しても、あの人は生き返らんちゃっけん。

耶宵 ……

真奈美 ……

耶宵 ……

真奈美 ……

耶宵 ……

真奈美 ……

耶宵 ……

真奈美 ……

耶宵 ……

真奈美

やめときつて。犯人が解ったところで、頭だの心臓だのムリやるが？

耶宵

(真奈美から紙を奪う) あ、そう言えば、さつき、徹から電話のきたとよ。

真奈美

え、あ、ホント？　なんて？

耶宵

お父さんの事。明日、お父さんば連れて、施設見学に行くって話。

真奈美

ああ、そがん言いよったね。

耶宵

うん。：：：とんとん拍子に決まってくれば良かとけどね。

真奈美

：：：そうやね。今日は大丈夫やった？　お義父さん、ちゃんと行かしたね？

耶宵

うん。まあ、いつも通り、ちよつとごねたけど。最終的には連れてってもらうたよ。

真奈美

もうすぐ帰ってくるけん、その前に、この事件ば解決せんと。

耶宵

いやいや。警察に：：：、

真奈美

(紙を見る)「妻の特徴は、身長が低くショートヘアー。左利き。愛人の特徴は、

真奈美

長身で肩にかかる髪：：：」

耶宵

特徴の平凡過ぎるばい。ショートヘアーとか、肩までの髪って、その辺にウヨウヨ

真奈美

居るやる。名前ぐらい書いとけよお。

耶宵

けど、奥さんの左利きって、大ヒントじゃない？　アンタも左利きよね？

真奈美

うん。：：：え？　ナニ、その目？　まさか私を疑ってんの？

耶宵

や、違うけど。ただ、あの死体に刺さつとると、ウチの包丁じゃなかなあつて。

真奈美

え？

耶宵

アンタが使いやすいよる、左利き用の包丁さ。

真奈美

ええっ？　嘘っ！

耶宵

因みに、ちよつと確認けど、真奈美ちゃん、今まで、どこ行つとつたと？

真奈美

はあ？　ちよつと、どがん意味ねっ？

耶宵

そがん目くじら立てんと。ただの確認たいね。

真奈美

ウチは：：：、その：：：。

耶宵

あつ、言い淀んでるっ。怪しい！

真奈美

ちがつ、怪しくなかつ！　つてか、結果の出るまで黙つとこうと思つたとけど：：：、

耶宵

えっ！　まさか！(真奈美のお腹を撫でようとする)

真奈美

あー、違う、違う！　そうじゃなくて、ウチ、バイトの面接に行つてきたとよ。

耶宵

面接？　なあーんね。なんで、そがんとば、イチイチ勿体つけて言うと？

真奈美

いや、そいが：：：。まだ、徹くんに言うたらんっちゃん。そいに、お義父さんの

耶宵

事もあるとに、勝手に面接受けてから：：：。

真奈美

そがんと、お父さんがデイケアに行つとる間なら、別に真奈美ちゃんの好きにして

耶宵

良かどじゃなかね？　徹がとやかく言う事じゃなかなやろうもん。

真奈美

：：：けど、徹くんは、：：：まだ子供ば諦めとらんし。もしかしたら反対さすか

耶宵

もしれん。明日には結果の出るっちゃん。そいけん、：：：もし決まったら、

真奈美

ちちゃんと話し合つてみようと思う。

耶宵

うん。そいは、アンタ達の問題やし。アンタがそがん思うなら、徹に伝えて

真奈美

みらんね。お父さんの事なら大丈夫さ。三人で時間ばやり繰りすればどがんな

耶宵

るって。ね？　あ、そいで、アンタ、どこにバイト行くと？

真奈美

角のコンビニ。

耶宵

角の？　下山さんそこ？

真奈美

そう。

耶宵

そうたい。恵子とアンタは同級生やったね。そいぎん、働きやすかけん良かたい。

真奈美

いや、恵子は嫁に行つとるけん、今は、弟夫婦がしよるとよ。

耶宵 マジで？ 恵子、いつの間に嫁に行っただと？ 知らなかった。ってかね、うちもお母さんの死んでから、近所の情報、なかなか入ってこんごとなったもんねえ。弟夫婦って事は、ヤスが店長しよると？

真奈美

うん。ヤスと奥さんでしよるとよ。

耶宵

そうね。下村んとこのオジサン、死んだって聞かんけど。隠居しとるったい？ ちよつと患つとらすごたんけんね。オバサンが亡くなったとは三年前やったろ？ そんな頃から、ちよつと調子ば崩しとらすごたんけん。

耶宵

そうね。酒屋ば潰してコンビニにしたとも、三年ぐらい前やったよね。最初は、あがんとこにコンビニ作つたっちゃ、どがんもならんとか、近所も言いよつたけど。頑張つて続きよるもんねえ。

真奈美

忙しかごたんよ。海きからも森きからも、通り道やけんね。

耶宵

せいばつてん、コンビニなら、深夜もあるっちゃなかね？

真奈美

ウチは、今のところ、日中の時間帯ば希望しとるとけど。もし、耶宵ちゃんの夜勤との兼ね合いが利けば、深夜も働きたかつちゃん。

耶宵

でも、危なかやるお、夜中のコンビニとか。せいこそ、徹は許さんやろう。ぎゃん田舎で、ナンも危のうなかさ。

真奈美

なん言いよると？ 現に、今、ウチの勝手口でナンの起こつとるって思うとると？

耶宵

…：そうやったね。つてか、ウチの包丁、無断で凶器に使わんで欲しかあ。

真奈美

アンタ、ちよつと見てから確認しておいで。

耶宵

…：いやばい。

真奈美

イヤつて何ね？ だつて、凶器がアンタの包丁なら、疑われるとはアンタばい？

耶宵

何でウチが？ だつて、ウチも間違えて左利き用の包丁、使ったことあるけど、右利きが使ったら、

真奈美

全然、うまく切れない？ って事は、犯人は左利きたいね。

耶宵

そがんと、両手で持つて、一気に刺す分には左も右もなかさ。

真奈美

けど、包丁立てには、普通の包丁もあるとよ？ そいとに、敢えて左利き用ば使う

耶宵

つて、そいが使い慣れとる証拠じゃなかね？

真奈美

何で、そがんと、取り調べんごたん訊き方すると？

耶宵

そがんと、取り調べんごたん訊き方すると？

真奈美

そがんと、取り調べんごたん訊き方すると？

耶宵

するやろ？ 取り敢えず、アンタの包丁かどうか、確認しときなさいつてば。

真奈美

じゃあ…：、写真撮つて来て。

耶宵

はあ？

真奈美

だつて、ウチ、死体なんか見たくなかもん。せいけん、包丁の写真、撮つて来て。

耶宵

なるべく血の写らんごと。

真奈美

いやばい！ 写真なんか撮つたら、呪いのかかるやろう！

耶宵

その紙ば引き抜いた時点で、すでに呪われとるつて！

真奈美

じゃあ、アンタのスマホば貸さんね！ そいで撮つて来てやるけん！

耶宵

☆ 耶宵、真奈美のポケットに手を伸ばす。二人、揉み合う。

真奈美

いやばい！

耶宵

ズルかさ！ 自分ばつかい、呪いから逃れようとして！

真奈美

だけん、警察に電話しようつて言いよるとさ！ 素人に殺人事件なんか扱えんし！

耶宵

でも、遺言状ば読んでしまった以上、ウチらはもう呪わるとばい？ 途中で放棄

したら、この呪いは解けんとかばい！

真奈美

そがんとイヤ！ ウチは、必ず、この呪いは

解いてみせる！  
真奈美　　なんか、ちよつと、主旨の変わってきよらんっ？

☆　二人、動きを止め、お互いを見る。

耶宵　　あれ？　アンタ、香水付けとる？

真奈美　　耶宵ちゃんも、付けとるよね？

耶宵　　うん。職場の子がプレゼントにくれたっちゃん。ホラ、ウチ、来週、誕生日やけん。せっかく貰ったし、ちよつと夜勤明けで帰るだけやったけん、付けてみたど。

真奈美　　ウチも、徹くんにプレゼントで貰ったっちゃん。先月、結婚記念日やったけん。

耶宵　　うわー。キモッ！

真奈美　　なんねっ？　キモって！

耶宵　　いや、真奈美ちゃんはキモくない。キモかとは徹たい！

真奈美　　なんで徹くんがキモかと？

耶宵　　弟のそういう話って引くばい。けど、何年経ってもラブラブやね、アンタ達。

真奈美　　まあ、…：子供の居らんけんね。

耶宵　　…：…：…

真奈美　　でも、せっかく貰ったとに、なかなか付ける機会のなかけん、外出の時は、付ける事にしとると。

耶宵　　うん。そうね。徹も喜ぶばい。よし、じゃあ、しよんなかけん、ウチのスマホで撮ってくるけん。

真奈美　　えっ？

耶宵　　包丁の写真、撮ってくるけん。

真奈美　　えっ？　まだ言いよると？

耶宵　　当たり前やろ。アンタ、ちゃんと見て確認しなさいよ。

☆　耶宵、スマホを手に部屋を出て、一人残った真奈美は、スマホでLINEを確認する。しばらくして、真奈美のスマホにLINEが送られてきた音。  
真奈美、画面を見て悲鳴を上げる。

真奈美　　ちよつとお！　耶宵ちゃんっ！　何で画像ば送るとっ？

☆　耶宵、部屋の入り口から顔を出す。

耶宵　　呪いのおすそ分けじゃあ。

真奈美　　信じられんっ！　もお！

耶宵　　ホラ、早う確認せんね。その男の背中刺さってるのは、左利き用の包丁かえ？  
それとも、右利き用の包丁かえ？（部屋に戻る）

真奈美　　やめんね！　そがん罰当たりな事言わんと！　（スマホの画面を見る）いやー！  
何で顔まで写すと？　背中だけで良かったとに！　ってか、こい、マジでウチの包丁たい！

耶宵　　って事は、犯人は左利きの奥さん？

真奈美　　いや、そうとは限らんよ？　愛人が妻の仕業に見せかけて、左利き用の包丁ば使ったとかもしれん。

耶宵　　えー？　そがん事言い出したら、キリンなかない。

真奈美　でも、左利きが素直に左利き用の包丁ば使ったら、すぐにバレるたい。(画面を見て)：：あれ？　コレって、もしかしてリンダくん？

耶宵　へっ？　やっぱり、アンタの知り合いねっ？

真奈美　やっぱりってなんね？　ってか、リンダくんさ、ホラ。徹くんの友達の。

耶宵　え、ああ、あー、あー、そう言えば、居った居った。リンダねえ。はいはい。

真奈美　ね、ちよつと見て。(スマホを耶宵向ける)　こい、違うかね？

耶宵　(スマホを見る)：：あー、確かに言われてみれば。

真奈美　ねえ、リンダくんの名前、覚えとる？

耶宵　へ？　林田、誠一やろ？　『林田』やけん、『リンダ』やもん。あははは。

真奈美　そうそう。林田誠一くん。いやあ、懐かしなあ。なんか、すっかり老けらしたねえ。

耶宵　確かに、老けた感じに見えるよね。：：まあ、背中刺されとるっちゃっけん、老けたもへったくれもないかもしれんけど。

真奈美　でも、昔は、もつと綺麗かったたい。

耶宵　こいが、間違ひなくリンダって確認する方法のあるよ。

真奈美　え？　なん？

耶宵　リンダやったら、右手の小指に傷のあるはずやん。

真由美　小指の傷？　なんのケジメね？

耶宵　違う違うっ。ホラ、リンダんちって漁師やろ？　昔、網の片付けば手伝いよって、

小指の千切れた事のあるとって。すぐにくっ付けたらしかけどね。

真由美　いやー！　そがん痛か話ばせんで！

耶宵　ホントにやんちややったもんねえ。ウチの徹とヤスもつるんで、イタズラばかり

しよったもん。

真奈美　けどさ、頭は良かったもんね。確か、良か大学に行ったとよね。

耶宵　そうね。なんか、こがん海臭か田舎町には、似合わんやったよね。

真奈美　色々、噂は聞きよったよ。東京で会社ば興したとか、日本で稼いだ金ば元に海外に

行ったとかさ。

耶宵　そいけど、なんでまた、そのリンダがウチの勝手口で死んどるとやろう？　佐世保

に戻って来たって聞かんけどね。

真奈美　もしかして、徹くん、未だに連絡取りよるとやろうか？　訊いてみようか？

耶宵　えっ？　なんぼ？

真奈美　まだリンダくんと付き合いのあるとか、確認してみようか？

耶宵　けど、いきなりそがん事訊いたら変に思うやろう？　出張中やし、余計な心配かけ

ん方がよかよ。

真奈美　そうねえ。「ウチの勝手口でリンダが死んどる」って言われんもんねえ。じゃあ、

もういい加減、警察に電話しようか？

耶宵　えー？　だって、まだ犯人の解つとらんたい。ウチの呪いだって解けとらんとよ？

真奈美　背中に刺さつとる包丁は左利き用けん、犯人は妻で決まり！　はい。お義姉ねえさんの

呪いは解けました！

耶宵　雑かねえ。じゃあ、リンダの頭ばぶった切って、妻に渡さんばたい。

真奈美　渡すって言ってもね。頭ぶった切るなんか無理やし、妻が誰か解らんし。

耶宵　そうたいね。そう言えば誰と結婚したとやろう？　リンダの結婚式に出たって話、

いっちょん聞かんよね？　曲がりなりに、この辺で一番大きな家やし、一応、

リンダが跡取りやろうけど。



真奈美 けど、リンダん家の羽振りのよかったとは、ウチラが学生の頃やもん。もう跡取り

とか、古かっちゃない？

耶宵 まあ、リンダん家のオジサンも、もう昔のごたん勢いはあらっさんしね。

真奈美 ふーん？ 耶宵ちゃん、最近、リンダのお父さんに会<sup>お</sup>うたと？

耶宵 うん。もう一年ぐらい前から、ウチの施設に居らすけん。

真奈美 えっ？ そうね。知らなかった。

耶宵 あそこは、まだ、お母さんがシツカリしとらすけん良かけどねえ。リンダも一人

息子やけん、…いや、「一人息子やった」けん、これからが大変よねえ。

真奈美 あ、ねえ。だったらさ、リンダくんちに連絡してみらん？

耶宵 え。なんて？ お宅の息子さん、ウチの勝手口で死んでますよって？

真奈美 だって、事実やけん、そがん言ううしかなかたい。

☆ 台所から携帯の着信音が。二人は気付かず話し続ける。

耶宵 今更ながら、なんでこがん厄介なコトしてくれたっちゃろう？ 世界はこがん広か

とに、なんもわざわざ、ウチの勝手口で！

真奈美 さつきから、それ、堂々巡りやん。もう諦めて、警察に電話しようで。

耶宵 ん？ 何か聴こえん？

真奈美 ……ん？

☆ 二人、耳を澄まし、顔を見合わせる。

耶宵・真奈美 携帯！

耶宵 どうしようっ？ 携帯が鳴るって事は、そろそろ、誰かがリンダば探し始めたかもしれんね。

真奈美 もしかして、奥さんか、愛人からの電話かもしれんよ。

耶宵 あっ、止まった。

真奈美 万が一さ、リンダのスマホに位置情報アプリとか入ったたら、ココに居るとのバレるっちゃない？

☆ 家の固定電話が鳴る。

耶宵・真奈美 きゃあああ！

耶宵 な、なんねっ！ 電話たいね！

真奈美 そいは解つとるけど、何でこのタイミング？ 滅多に家の電話なんか鳴らんとに！

耶宵 どがんしよう？ 出るべきっ？

真奈美 そりゃあ、出た方が良かやる。うっ達、ナンも悪か事しとらんとやけん、ビクビクする必要なかない？

耶宵 そ、そうたいね。じゃあ、出る。(電話へ向かう)

真奈美 もう、早う警察に電話せんけん、こがん事になるとよ？

☆ 電話の音が止む。

真奈美

止まった。

耶宵

コワーッ！

真奈美

コワー、じゃないやろっ？ もう、そのまま警察に電話せんね！

耶宵

…でもさ、こいじゃ中途半端やん。

真奈美

あのね。人一人、亡くなつとらすとよ？ こいは遊びじゃなかつちゃけん。

耶宵

解つとるよ。

真奈美

解つとるとやつたら、警察に届けよう？ 遺言状だって、警察から身内に伝えて

耶宵

もらえばいいさ。

真奈美

だって、このままじゃ、ただの痴情の繾綣になるとよ？

耶宵

そいは、しよんなかよ。愛人なんか作つたリンダが悪かつちゃけん。

☆ 耶宵、部屋から出て行く。

真奈美

あ、ちよっと！ もー、やめとかんね！

耶宵

(声のみ) けどさ、可哀想かとは、奥さんと愛人やん？ せめて同じ女としてさ、

真奈美

リンダば殺すまでに、一体、何があつたとか、解明してやりたかつちゃもん。

耶宵

つてかさ、…あの遺言状、本当やろうか？

真奈美

(声のみ) え？

真奈美

アレって、リンダの都合よく書かれとる気のする。だって、犯人がどっちにしる、

そがんリンダの事ば好きなら、よその家に放置して行くやろうか？

☆ 沈黙。程なくして、ドアから耶宵が顔を出す。

真奈美

うち、ズーっと、そいが引つ掛かつたつちやん。遺言状は、さも二人の女が

耶宵

自分に惚れこんどるごたん書き方やつたけど、奴の死につぶりからは、二人の女の

真奈美

想いが伝わってこんちゃんね。

耶宵

じゃあ、あの遺言状は…？

真奈美

リンダが都合良く書いとるだけで、奥さんや愛人に見てみたら、もっと他に殺す

理由のあつたとかもしれん。

☆ 耶宵、部屋に戻り、疲れたように床に座る。

耶宵

そうなつてくると、犯人が奥さんか愛人つていう説も、根底から覆つてくるね。

真奈美

うん。そうさ。だって、リンダが自分で言いよるだけやもんね。

耶宵

つて事は…、今まで登場してない第三者の犯行の可能性もあるとたいね。

真奈美

そうたい。でも、第三者の犯行やつたら、もう完全にお手上げやね。ウチラに犯人

耶宵

が解るはずもなかし。

真奈美

…：第三者ねえ。

耶宵

この状況で、容疑者として考えられるとは…。(耶宵を指差す)

真奈美

そうさね。ウチも、今、そがん思うたと。どう考えても、ウチが一番怪しかよね？

耶宵

ちなみに…、違つとよね？

真奈美

違つとよね！ もしそうなら、こがん悠長なコトしよらんさ！ つか、アンタも

耶宵

違つとよね？

真奈美

はあ？ なんで、ウチ？

耶宵

だって、凶器は左利き用の包丁ばい？ しかも、この家は、アンタの家でもあるつ

ちゃっけん。

真奈美　ウチは、午前中、五番街行つて、面接用の服ば買った後、コンビニの控室で面接しよつたよ。五番街のレシートもあるし、ヤスに訊いてもらえばわかるけん！

耶宵　ズルさ！　自分だけアリバイ確保して！

真奈美　いやいや！　義姉さんが、さっさと通報せんけん、ややこしくなつるとよ？

耶宵　あー、もう、困つたねえ。

真奈美　つてかさ、今、リンダの死体に気付いたことにして、通報すればいいいたい。ね？  
なんやつたら、ウチと一緒に帰つて来たことにすれば。

耶宵　いや、ダメ。

真奈美　え、なんで？

耶宵　だつて、ウチ、朝から、めっちゃ、デイケアの人と話したけん。

真奈美　その後に出かけた事にすれば良かったい。

耶宵　そがん嘘ば言うても、今は、誰がどの道路ば走りよつたとかまで解る時代ばい。

真奈美　そがん嘘、すぐにバレるに決まつとるもん。

耶宵　そうね。：：一周して、正直に話した方がよかね。

真奈美　ウチじゃなかつてば！

耶宵　いや、自供しろつて言つてんじゃなくて、正直に、夜勤明けで、お義父さんば送り出した後、寝てました、つてさ。警察がちゃんと調べれば、耶宵ちゃんが犯人じゃなかつて、すぐにわかるさ。なんせ、リンダば殺す動機なんかなかつちゃっけん。

耶宵　：：けど、アンタにはあるっちゃやない？

真奈美　：：え？

耶宵　リンダば殺す動機のあるっちゃやなかと？

真奈美　何で、ウチが？

耶宵　：：ウチ、見てしもうたとよ。

真奈美　え、何ば？

耶宵　そいけん、ウチ、今日の午前中、五番街に居つたっちゃやん。

真奈美　嘘じゃなかと。ちゃんと買い物したレシートもあるし。：：：そんな時、見たっちゃやん。

真奈美　：：あいは、違ふよ！　偶然、会あつたと！　リンダくんから声ば掛けて来たけど、すつかり変わつとつたけん、ウチ、初め、誰か解らんで：：：！

耶宵　本当は、勝手口の死体ば見た時から、リンダつて気付いとつたっちゃやなかとね？  
そいとに、自分の犯行ば誤魔化すために、知らんふりしとつたっちゃやなかと？

真奈美　違ふ！　ホントに、あの死体がリンダつて気付かんかつたと！　だつて、五番街で

耶宵　会あつた時も、ほんの少し立ち話しただけやつたし！　そいば言うなら、耶宵ちゃんだつて、死体ば見付けた時、リンダつて気付かんかつたと？  
気付いたさ。リンダつて気付いて、：：：そう言えば、五番街でアンタとリンダが

耶宵　一緒やつたつて思い出して：：。そいけん、アンタにカマかけてみた。本当は、ずつとリンダと一緒に居つたつちやなかとね？  
違ふよ！

真奈美　考えてみれば、昨日の晩から「明日は出掛けるね」つて、やたら念ば押しよつたし。  
そいは、お義父さんの事のあるけんさ！　耶宵ちゃんが夜勤明けつて言いよつた

耶宵　けん、代わりにお父さんば送り出してもらおうと思つて、念ば押したと！  
ホントに面接やつたと？

真奈美

どがん意味ね？

耶宵

その服で面接行ったと？ どがん見ても、逢引きん時に着る服じゃなかね？

真奈美

はあ？ 違うばい！ 面接って言うても、そがん堅苦しかとじやなかけん、砕けた格好で良かって言われたと！ そいけど、ウチ、ホントに、服とか持たんけん。

耶宵

一応、面接やし、少しぐらいマシな格好して行こうと思つて……、わざわざ香水まで付けて？

真奈美

……お義姉さん、意地悪かね。ウチが、毎日、どがんしよるか知つとるやろ？ 朝、徹くんとお義姉さんが仕事行つてから、いっちょん言う事ば聞いてくれんお義父さんば必死でデイケアの車に乗せて、不妊治療に通つて、夜は、うちば子作りの道具としか思うとらん旦那の相手ばしよるとばい？ たまの外出に香水付けるぐらい、何が悪かどつ？

耶宵

そいは……、しよんなかやろ？ アンタはこの家に嫁に来たとやけん。

真奈美

ウチはオジちゃんの面倒を見るために、この家に嫁いだつちやなかと！ 耶宵ちゃんこそ、何ね！ オジちゃんは耶宵ちゃんのお父さんやろ！ 嫁に行かんとやつたら、ちゃんと面倒みらんね！

耶宵

みよるよ！ ウチだつて、ちゃんとみよる！ 夜勤明けの時は、ウチがお父さんば送り出しよるし、休みん時だつて、ちゃんとしよるたい！

真奈美

そがん言うて、「ウチは仕事ばしよるけん」つて、家の事は、ウチに丸投げたいね！

耶宵

けど、ウチが働かんぎん、徹の稼ぎだけじゃ、どがんもならんやろ？

真奈美

ちよつとの事で良かとさ。ちよつとの気遣いのあれば、ウチは救われると！ そいとにさ！ みんな、ウチばお手伝いロボットぐらいにしか思つとらんやろ？ 子供も産めんし、この家でウチができる事つて言うたら、オジちゃんの世話と家事しかなかもんね！ そいけん、ウチ、バイトに出たかとさ！ ううん、この家から出られるなら、何でも良かと！ 徹くんと子作りばするぐらいなら、深夜まで働いた方がマシやもん！

☆ 沈黙。程なくして。

耶宵

……アンタ、今まで、よう、そんだけの不満ばガマンしとつたね。

真奈美

……ウチもビックリした……。ウチつて……、結構、ガマンしとつたとね。

耶宵

そいけんさ、ウチ、アンタが徹と結婚する時、「ホントに良かとね？」つて訊いたたい。アンタ、確か、結婚話まで行った人の居つたやろ？

真奈美

居つたけど、その人のお母さんと上手くいかんかつた。こりや、結婚しても、すぐダメになるやろうつて思つてさ。そがん時に、徹くんからプロポーズされたよ。昔から知つとるし、弟みたいに思うとつたけど、ウチ、耶宵ちゃん達のお母さんの事、大好きやつたけん。あ、結婚してもいいいかなつて……。

耶宵

なるほど。ウチのお母さんに釣られて、徹と結婚したとか。

真奈美

いや、勿論、そいだけじゃなかよ？ ちゃんと徹くんへのキモチもあつたとばい。

耶宵

やつぱ、キモツ！

真奈美

え？

耶宵

やつぱ、弟のそういう話つて引くばい。

真奈美

なーんね！ 耶宵ちゃんが色々言うけん、話したとやろつ！ うちだつて、こがん恥ずかしか事、言いとうなかよお！

耶宵

言つとくけど、ウチは一度だつて、アンタばお手伝いロボットなんか、思つた事なかよ。不妊治療が辛かとも、何となく、解つとつた。……早う、お父さんば預かつ

真奈美

てくれる施設の決まれば良かとけどね。そしたら、アンタも少しは……、ごめんね、耶宵ちゃん。

耶宵

え？

真奈美

ウチ、別に、オジちゃんのコト、キライじゃなかとよ？ 勿論、徹くんも。ただ、いくら病気とはいえ、オジちゃんがどんどん変わっていくとに、正直、ついていけないやった。そいに、「子供、子供」って言う徹くんも。……上手く言えんけど、結婚したら変わっていったらとねえ、って、なんか、寂しくなったと。

耶宵

うん、解るよ、ウチもお父さんを見て、そがん思う事あるし。まあ、真奈美ちゃんの言う通り、結婚したらんけん、子供についてはコメントできんけど。

真奈美

ごめんね、耶宵ちゃん！ 違うとよ！ 独身って立場が羨ましくて、つい、意地悪言うてしようた！ けど、ウチ、耶宵ちゃん大好きばい。小さか頃から、ホントのお姉ちゃんのごと思うとったし！

耶宵

嘘ばつかい。どうせ、行き遅れって思っとるっちゃる。

真奈美

そがん事、思うとらんよ！ ウチ、ホントに、耶宵ちゃんのコト……、

耶宵

ウソウソ。解つとるって。アンタ、昔からウチに懐いとったもんね。まさか、ホントに妹になるとは思わんやったけど。

真奈美

ウチ、ホントに、子供ん頃から、この家が大好きやった。オバちゃんも明るかし、耶宵ちゃんは、よう面倒見てくれたし。ホラ、ウチ、一人っ子な上に、両親が共働きやったけんさ。この家は、いつも楽しそうで、ホントに好きやった。

耶宵

ウチはお母さんが賑やか好きやったけん、昔っから、近所の子のたまり場やったもんね。

真奈美

ウチと恵子と、そいから、澄ちゃんも。学年違っても、ココで一緒に遊びよったよね。そいに、ヤスやらリンダやらさ、徹くんの友達も居って、男子対女子で、よおケンカしよったね。

耶宵

ホント、毎日、騒々しかったね。

真奈美

けど、耶宵ちゃんが中学に上がったからは、だんだん、一緒に遊ばんごとになって、なーんか、寂しかったとば覚えとるよ。

耶宵

そりゃあ、アンタ、中学、高校って、小学生とは違うもん。部活もあるし、反抗期やし。そいこそ、ウチ、中学にあがってからの方が、徹とようケンカしよったもん。

真奈美

不思議よねえ。男と女ってさあ、いくつから男と女になるっちゃるうね。昔も、そりゃあ、男子対女子でケンカしよったけど、中学年ぐらいからさ、男と女の間に、壁の出来るとよね。

耶宵

小学生ん時、「うんこ、うんこ」言いよった男子が、中学になって、急にモテ始めたりね。

真奈美

そうそう。中学生デビューする男子、多かつたもんねえ。ってか、モテるって言えば、リンダくん、モテよったよねえ。ホラ、ウチ、一応、幼馴染みやけん、他の小学校から来た子から、ようリンダの事、訊かれよったあ。

耶宵

アンタ、中学でリンダと被ったった？

真奈美

うん。徹くんとヤスもね。あん人達、ウチの二つ下やけん。ウチが中三の時、中一やったよ。そいに、そのまま高校も被ったもんね。あ、でも、リンダくんは頭よかつたけん、違う高校やったけどね。耶宵ちゃんと徹くんも、小学校ん時、ちよつと被ったよね？

耶宵

ウチが小六ん時、アイツが小一。まあ、あん頃は、まだ可愛かつたよ。

真奈美

あははは。幾つぐらいから、可愛くなくなったと？

耶宵

小三ぐらいじゃない？ あのぐらいから、男と女は言葉の通じんごとになると。

真奈美

あははは、ホントばい。やっぱ、小学生になりたての頃が、一番、なーんも考えんでよかったよね。結婚して、つくづく思ったもん。小三の時にできた、男女の間の壁は、もう、この先、二度と崩れる事のなかとよねえって。

耶宵

アンタ、よっぽど、徹との結婚がストレスのごたんね？

真奈美

一般論ばい。だって、「女は結婚して変わる」って言われるけど、男だって同じばい？ ってか、男の場合、変わって欲しくないところはどンドン変わるとに、変わって欲しいトコは、頑固に残ったまんまやし。

耶宵

あー、なんか、解る気はする。独身ですけど？

真奈美

もー、さっきの発言はごめんって！ あ、でもさ、変わったって言えば、リンダも変わったよねえ。

耶宵

そうやね。

真奈美

耶宵ちゃん、よお、ウチと立ち話しよるとがリンダって解ったね？ 五番街のどの辺から見よったと？ ウチ、買い物終わってさ、一階の吹き抜けの広場に居ったとけど、そんな時よね？

耶宵

ウチは買い物済ませて、エスカレーターで降りて来たところやったと。

真奈美

ふーん。じゃあ、そんな時、声かけてくれれば良かったとにい！

☆ 耶宵、真奈美の言葉に応えず、ドアへ向かう。

そして、そこから台所を見る。

耶宵

その香水、クロエのラブストーリーやろ？

真奈美

え、…あ、そう、かな？ よう解らん。名前なんか気にした事なかけん。

耶宵

ウチが付けるとも、同じクロエのラブストーリーさ。

真奈美

ふーん。…ごめんね、ウチ、そがんとに疎くて。有名か香水？

耶宵

リンダが…、誠一が、プレゼントしてくれた香水。

真奈美

……っえ？ マジッ？ え？ え？ どういう事？

耶宵

誠一が高校生の頃から、ウチら、付き合いよったとよ。

真奈美

えっ？

耶宵

付き合いよったって言うか、ただ、「そういう関係」やっただけやけど。その頃、

真奈美

ウチは短大ば出て、保母さんしよってさ。なんせ、若かったけんね。ひよんな弾

耶宵

みで男女の関係になつてもうたとき。

真奈美

えー？ ホントにつ？ 全然、知らんやった。

耶宵

表に出す関係でもなかったし。アイツは高校生で、東京の大学に行くって言い

真奈美

よったけん、まあ、期間限定みたいな付き合いやったし。

耶宵

勿体ない！ 付いて行けば良かったとにい。こがん田舎から抜け出す、いい

真奈美

チャンスやん！

耶宵

だけん、付いて行くような関係じゃなかったっさ。それでも、たまに誠一が佐世保

真奈美

に戻ってきたら、こっそり会いよったとよ。

耶宵

えっ？ マジで？ マジでっ？

真奈美

誠一は、必ず、クロエのラブストーリーばプレゼントに買ってきた。けど、何でか、

耶宵

ウチが香水ば付けるとば気に入らっさんやったと。

真奈美

えー？ 何でえ？ じゃあ、プレゼントせんぎん良かとに。

耶宵

大学卒業して、東京で勤め始めても、たまに帰ってくる時は連絡ばくれよった。

けど、アイツが佐世保に帰ってくるとは、ウチのためじゃなか。実家に置いてきた母親が心配かとき。いつでもそうばい。まずは、実家に帰って、散々、ママに甘え

てから、ついでのごとウチに会いに来る。……せいでも、ウチは突っ撥ねきれんと。ホントに、良くなか関係ば、今までズルズル続けてしもうた。

真奈美　　せいやったら、結婚したら良かったとに。もしかして、お義父さんの事があるけん、結婚に踏み切れんかったと？

耶宵　　誠一はね、東京に奥さんも子供も居るとよ。

真奈美　　は？ え？

奥さんが東京の人で、田舎では暮らしたくなかどつて。そいに、今年の子供がお受験で大変からしかし。

真奈美　　じゃあ、あの遺言に書いてあつた妻と愛人つて、その奥さんと耶宵ちゃんの事ね？

耶宵　　去年、オジさんの認知症が手に負えごとなつて、ウチが働きよる施設に入ったとけど、せいば、必死で手引きしたとはウチさ。

真奈美　　なんね、せい？　そがんとおかしかたい！　奥さんの居るとやつたら、その女が面倒見らんばやろう？　なんで、耶宵ちゃんがそがん事してやるとね？

耶宵　　解らん。……けど、昔から、誠一に頼まれたら、頭に血の昇つて、断りきれんと。

真奈美　　せいぎん、ウチが代わりにビシツと言うてやるけん！

耶宵　　………

真奈美　　………あ、そつか。(台所を見る)　もう手遅れか。

耶宵　　今朝、誠一が会おうつて電話してきたと。半年ぶりぐらいよ。ホントに、いつも唐突やんね。今日は、朝からアンタも出掛けるつて言いよつたし、お父さんも

デイケアに行くけん、12時ぐらいから、この家で会う事にしとつたと。せいけん、午前中の内に、新しか服ば買いに行つて、そんな時に、アンタと誠一ば見かけたつた。アンタは用事のあるつて言うて出て行つた。いつもは付けん香水ばつけて。その香りが、ウチと同じ、ラブストーリーやつたけん……。

真奈美　　いや、こいは、ホントに偶然ばい？

耶宵　　GパンとTシャツで出かけたとに、五番街で見たアンタは、そがん恰好に変わつとるし。

真奈美　　せいけん、面接やつたどつて！　五番街のトイレで着替えたどつ。

耶宵　　しかも、ウチが買った服と同じやし。

真奈美　　えつ？　マジでつ？

誠一は会う度、こがん言うつと。「耶宵ば見たらホツとする」つて。この町の匂いが沁み込んでるけん安心するどつて。最初は、その言葉にコロツと騙されよつたけど、だんだん、ムカついてきてさ。……この町の匂いってなん？　魚の匂いが沁みついてるつてね？　田舎臭さが沁みついてるつてね？

真奈美　　そがん！　耶宵ちゃんは、全然、魚臭くなかよつ？

奥さんは子供のお受験でピリピリしとるし、ママ友との付き合いのあるけん、毎日、着飾つてランチに行きよるつて。そがん女と天秤にかけて、「この町の匂いが沁み込んでる」つて！　ウチば、どんだけ田舎もんと思うとるとやろうか。

耶宵ちゃん……。

真奈美　　いつも、佐世保に帰つて来るとは突然さ。そして、急に呼び出されるけん、ウチは、

仕事帰りの汚か恰好で、待ち合わせの海きららの駐車場に行つてさ……。車の中で、「最近、どがん？」つて、どうでもいい話ばしよつて。開けた窓から、潮の匂いが入つて来てさ……。ああ、嫌ねえつて。海風つてベタベタするたい？　前以て連絡くれれば、ちゃんと着替えて、貰つた香水ば付けてくるとに、つて言うたら、「そのままの方が耶宵らしい」つてさ。なん言いよると？　いっちゃん女ごころの

真奈美 解つたらん。じゃあ、何で、香水なんかプレゼントするとね？  
耶宵 もう、そがん男、別れんね！ 耶宵ちゃんなら、もっと良か人の居るよ！  
………

真奈美 あ、そっか。(台所を見る) もう別れる必要はなかとか。

耶宵 今日は、朝から連絡もらつとったけん、せめて、新しい服でも買うて、ちゃんと香水付けて、キレイにして会おうと思つとったと。

真奈美 うん、うん、解るよ、耶宵ちゃん！

耶宵 ……もう一度、確認するけど、アンタと誠一は、そういう関係じゃなかとよね？  
真奈美 やっ！ 違うって！ ホントに！  
耶宵 ……そうね。違うとね。

真奈美 ……ごめんね。あん時、ウチがリンダと立ち話せんやったらよかつたね。そいば

耶宵 見て誤解してしもうたったい。ホントにごめん。……ウチ、付き合うよ。そいけん、  
真奈美 ……ちゃんと自首しよう？ ね？ 警察には、ウチからも事情ば……。

耶宵 ……や、でも、ウチ、殺しとらんけん。  
真奈美 もう、嘘なんか吐かんでよ。

耶宵 いや、ホントに。

真奈美 え、……いや、でも、今までの話の流れは……？

耶宵 それは、ウチと誠一の関係を語っただけで、別に、犯行の自供じゃなかけん。

真奈美 ……つか、ついさつきまで、誠一ば殺したとはアンタと思つとったぐらいやけん。

真奈美 はあっ？ まだそがん事言いよるとっ？ 何でウチね？

耶宵 だって、用事があるって出掛けて、そがん、偶然、誠一と会うとか思わんたい。

真奈美 そいに、昼前に、誠一から、急にドタキャンの連絡のきてさ。

真奈美 えっ？ ドタキャン？

耶宵 アンタと一緒にのトコば見た後やったけん、てつきり、アンタと会うためかなって

真奈美 思ったと。そいけん、必然的に犯人はアンタかなって。

耶宵 偶然ってば！ 声かけられて、名前ば聞くまで、リンダって解らんやったもん！

真奈美 そいなら、よかつた。……ウチ、今日こそは、きちんと別れ話ばしようと思つとつ

耶宵 たと。そいけん、もし、誠一ば殺したとがアンタなら、早まったマネばさせてしも

真奈美 うたと思つて……。何とか、アンタば容疑者にせん方法はなかつた……。

耶宵 そいけん、通報せんやつたと？

真奈美 まあ、実際、ビックリして動けんやつたともあるとけど、もしかして、犯人がアン

耶宵 タなら、ウチが罪ば被つてやらんばやろうって思つて……。

真奈美 もう！ 耶宵ちゃん！ 想像力の逞しかつちやっけん！

耶宵 だって、香水も同じやし。

真奈美 偶然ってば。もう、マジで徹くんに訊いてみてよ。

耶宵 買った服も被つとるし……。

真奈美 そいも偶然って！ ウチ、面接に行つとつたもん！ アリバイあるもん！

耶宵 アンタが、この結婚にウンザリしとるとも気付いとつたよ。そいに、最近、日中、

真奈美 どこかに出掛けよるってコトも。

耶宵 えー？ 何そい？ 出掛けるつたって、買い物とかばい？

真奈美 良かとよ、隠さんちや。ウチは、別に、アンタが外に恋人ば作つても責めたりせん。

耶宵 ……か、同じ女として、そういう秘密の匂いは、やっぱりわかるさ。

真奈美 ……：会う時は普段着で出掛けよつたとよ。この辺、近所はみんな顔見知りやしさ。

耶宵 ……ちよつと派手な格好しとつたら、すぐ噂になるもんね。そいけん、いつもんごと、

真奈美 TシャツにGパンさ。そいで、ちよつとだけ香水ば付けていくと。海臭か町やけん、



ちよつと洒落た匂いのしたら、男は喜ぶっさ。  
 耶宵 ……相手は、ホントに誠一じゃなかと？  
 真奈美 ……違う。……コンビニのヤスたい  
 耶宵 ……エ————ッ！？  
 真奈美 驚き過ぎやろ。  
 耶宵 アンタ、ああいう大きな人が好みとねっ？  
 真奈美 確かに、最近、ちよつとお腹の出て来たけど。そいはともかく、ヤスは優しかと。  
 耶宵 まあ、優しかとは優しかけどさ。えー、そうねえ。えっ、じゃあ、アンタ！  
 真奈美 浮気相手の所でバイトするとねっ？  
 耶宵 うん。……やっぱ引くかな？  
 真奈美 いや、ウチは、どっちかと言えば面白がるタイプやけど、ヤスからすれば、ヒヤヒヤするっちなか？  
 真奈美 そうさね。今日、ウチが面接に行ったら、思い切り動揺しとったよ。  
 耶宵 えっ？ ヤスに内緒で行ったとねっ？  
 真奈美 うん。求人ハローに掲つとつたけん、フツーにお店に電話して、アポ取って行つたと。電話に出たとは、声からして奥さんやと思うよ。  
 耶宵 コワッ！ アンタ、怖すぎっ！  
 真奈美 ……だって、奥さん、妊娠中つて言うことやもん。そいけん、バイト急募やつたとやろうね。ウチ、そいば聞いて悔しくてさあ、気付いたら、バイトの電話かけとつたっちゃん。  
 耶宵 うわーっ。奥さんの産休の間、愛人が働くつて！ もう、ホラーやん！  
 真奈美 ウチ、今日は気合い入れて面接行つたっさ。普段、こがん恰好してヤスに会わんとよ。ウチが綺麗にしたかったとは、奥さんに見せつけるためさ。  
 耶宵 いや、まあ、そいは解るけどさあ。  
 真奈美 けど、……悔しかけどさ……。化粧っ気なくて、ちよつとポツチャリしとつて、ダサイロントにヨレヨレのスパッツでさあ。明らかに、ウチが上やろうつて思つたけどさ……。ヤスの隣に居つたら、ちゃんとお似合いやん。ちゃんと夫婦やん。  
 耶宵 ……そがんもんたい。アンタ、早う気付いて良かったとよ。バイト先は、別んここにせんね。ヤスも、アンタば傷付けた事、気付いたと思うよ。  
 真奈美 ……：：：そうやねえ。初めて、キレイな格好して会いに行つたときに、皮肉なもんよねえ。やっぱ、……：：：母親になる女性の綺麗さには、敵わんとかな……。  
 耶宵 徹の帰ってきたら、あのアホに言いなさい。「子供、子供言うな」つて。そがん妻も満足に幸せにできん男が、適当に子供ば欲しがるなつて。  
 真奈美 ……：：：うん。そうやね。……：：：ごめんね、耶宵ちゃん。ウチ、いい妹になれんで……。  
 耶宵 今まで、頑張つてみたけど……。  
 真奈美 アンタはカワイかよ。  
 耶宵 はっ？ 何ね、急にっ？  
 真奈美 いつも、バカな弟と認知症の父親の世話ば任せて、申し訳なかつて思うとる。  
 耶宵 なん言いいよるとっ？ そがんと、耶宵ちゃんが謝る事じゃなかよつ！ ウチの結婚に對する想いが甘かつたと。この家が楽しそうやけんつて、軽い気持ちで家族になつてさ……。ホントに、バカやつた……。

☆ 沈黙。程なくして。

耶宵 ねー、覚えとる？ 家出事件。

真奈美

あー！ ウチも、今、ちょうど同じこと考えよった！

耶宵

何が理由やったつけ？　なんか、どうでもいいようなコトやったよねえ。

真奈美

学校キライ、宿題イヤ！

耶宵

弟がウザい。家の手伝いもイヤ。

真奈美

そうそう。そんぐらいの理由やった。お父さんとお母さんなんか、いっちょん好かん！　ってさ。

耶宵

いっちょん好かん。いつも「アンタはお姉ちゃんやろう。我慢せんね」って言うて、徹と喧嘩しても、いつもウチが悪者でさ。特にお父さんは、徹ばっかり可愛がって。

真奈美

そうやった？　耶宵ちゃんの事も、可愛がりよらしたたい。

耶宵

…：そうかもしれない。お父さんは可愛がりよるつもりやったとかもしれん…：。

真奈美

あん時、ウチらはどこまで行ったとやったつけ？　リュックに着替えとか駄菓子ば詰め込んで、ともかく、「海の方に行こう」って。「ここから外に出るなら、海ば

耶宵

超えればよかとよ」ってね。

耶宵

それで、日の暮れた頃、ウチのお父さんに掴まって、呆気なく終わったね。

真奈美

そうさ。迎えに来たお父さんとお母さんに、メチャがられたけんね。

耶宵

…：でも、嬉しかったなあ。

真奈美

まあねえ。ああやって、両親が必死で探してくれたとは、なんか、嬉しかったよね。

耶宵

ううん。この町から…：、この家から脱出できるかもしれない、つ事が嬉しかったと。

真奈美

…：出たかと？

耶宵

ただのない物ねだりさ。あの海ば越えてみたかっただけ。けど、アンタはまだ若かつちやけん、どこにでも行けるばい。徹と別れて新しい人生ば選んだとしても、

真奈美

ウチはずっとアンタの味方やけんね。

真奈美

…：ありがとう、耶宵ちゃん。

☆

真奈美、耶宵に抱き着く。その時、台所から携帯の着信音が。

二人は顔を見合わせる。

耶宵・真奈美

あ、忘れとった！

耶宵

今、すごくいい感じに話のまとまったとに、肝心なコトば忘れとった！

真奈美

そうやったね！　あー、電話の鳴らんやったらヤバかった！

耶宵

ってかさ、ウチでもアンタでもないとしたら、一体誰が犯人やろうか？

真奈美

そがんと、ウチラには絶対、解らんさ！　警察に電話しようっ！

☆　携帯の着信音が止まる。

耶宵

でも、ウチ、アリバイのなかし、警察に言ったら確実に容疑者になるよね？

真奈美

いや、大丈夫さ。ちゃんと調べればわかるよ。ってか、耶宵ちゃん、ホントに

耶宵

ナンも見とらんと？

うん。だって、夜勤明けばい？　朝から張り切って五番街行ってさあ。もう、ドタ

キャンの電話があった後、完璧、力尽きて爆睡さ。ドタキャンが十二時前やったも

んね。それで、ウチが起きたとが、二時少し過ぎやったけん、その間に、台所で

犯行があったとやろうと思う。

真奈美

ウチが五番街で別れたとが、十一時ちよつと過ぎとったかなあ。せいけん、その後、

ドタキャンしたにもかかわらず、リンダはこの家に来たわけたい。

ってか、誠一は五番街でナンしよったつちやろうかね？

真奈美

待ち合わせって言いよったよ。…うん。待ち合わせって言った。そいぎん、その待ち合わせの相手が犯人じゃなかと？

耶宵

…ふーむ。…いっちょん解らんね。

真奈美

でも、あの遺言状通りやとすると、相手は奥さんって考えるとが妥当やろう。

耶宵

ああ、あの遺言状、ウチが書いたっちゃん。

真奈美

はいっ？ ナンで？

耶宵

だって、ウチ、アンタが犯人と思つとつたけん。何とか、こう、ウチに容疑の目が向けられるようになって思うて。

真奈美

もーっ、マジで早とちりばい！ あがん突拍子もなか遺言ば、よう思い付いたね？

耶宵

誠一の口癖やったと。「もしおいが死んだら、おいの心は、全部耶宵にやる」って。

真奈美

うわっ、キモッ！ リンダって、そういうキザな事、言うヤツやったったい！

耶宵

いや、普段はそがんでもなかとけど、たまに、死んだ後の話になったら、「おいの心は、全部、耶宵にやる」って言いよらした。…初めは嬉しかったけどね。

年を重ねるにつれ、心より金がいいなあ…って。

真奈美

あー、はいはい。そうなるよね。じゃあ、奥さんの方の「頭部」は？ どちらから来たと？

耶宵

これも、誠一からの受け売りやけど、昔、どこかの国で、上流階級の人たちが退屈しのぎに、「頭」派と「心」派に別れて討論するゲームがあつたとつて。例えば

テーマが「恋」やとして、頭と心に別れて、どちらがより一層、「恋」をするのに

真奈美

相応しいか討論するらしかつき。あー、まあ。上流階級の方々は、大層な遊びばさすとね。そいけん、「頭部」と

耶宵

「心臓」にしたと？ なかなか洒落た遺言状やつたろ？ 誠一には似合うと思うてさ。

真奈美

いやあ、確かに洒落とるとかもしれんけど、ウチ、そがん話されたら、ぶはって

耶宵

吹き出すかもしれん。耶宵ちゃん、よお、そがんとば相手にしよつたね？ ウチもよう解つとらんとよ。そいけど、こがん田舎に居つてさ、意味は解らんけど、

洒落た言い回しば聞きよつたら、少し自分が上等になつた気のするつさね。

真奈美

誠一さあ、キレイな標準語で喋るけん、なんか、テレビの中の世界のごたつた。確かに、昔のリンダは綺麗かつたもんねえ。…けど、今は老け込んだよね。

耶宵

だって、聞きよるだけで、都会の生活つて大変そうやもん。田舎とは時間の流れが違うイメージのあるもん。

真奈美

ああ、…浦島太郎的な？ うん…。いや、浦島太郎が、どがん例えか解らんけど、多分、そういう事。

耶宵

そいぎん、遺言状にあつた、愛人と奥さんの特徴も嘘ね？ ううん。奥さんはショートヘアの左利きらしかばい。うちだつて、ホラ。肩までの長さやろ？ 嘘は言うたらん。

真奈美

…なら、犯人は奥さんで決まりやろ。えー？ 奥さんは東京に居らすとばい？

耶宵

だって、凶器は左利きの包丁たい。

真奈美

あれは、だって、真奈美ちゃんの包丁やろ？ そうけど、台所にあるつちやつけん、誰でもすぐに使えるやろう？

耶宵

…えー、でも…。奥さんがあ？ 何で？ だって、奥さんは子供のお受験に夢中で、いっちょん誠一には興味なかごと言いよらしたとに。

真奈美

男は浮気相手に必ずそがん言うたい！ 「家内と上手くいつてない」ってさ！ そいけんつて、そいば鵜呑みにしとつたら、ヤスの奥さん、妊娠しとつたとよ？

耶宵 いや、でも。奥さんがうちの存在に気付いとったとは思えん。  
真奈美 いやいや。女の勘は怖かばい？ 耶宵ちゃんも言うたたい。同じ女として、秘密の

匂いはわかるって。

耶宵 ガチョーン。

真奈美 うわっ、ショックの表現が昭和っ。

耶宵 ウチとの事がバレとったとなら、チョーショック。

真奈美 バレとったっちゃなかとね？

耶宵 けど、…：わざわざ、佐世保までついてきて殺すかね？ しかも、愛人の家で？

真奈美 けどさ、リンドバ殺す、強い動機のある人間は、妻か愛人…：。つまり、奥さんか、

耶宵 耶宵ちゃんしか居らなってコトばい。

けど、ドタキャンしたとは誠一ばい？

☆ 台所から携帯の着信音が。二人は顔を見合わせる。

耶宵 …：出た方がいいかな？

真奈美 …：多分、奥さんも、耶宵ちゃんと話したかつちやなかかな…：？

☆ 耶宵、台所へ行く。程なくして、着信音が止まる。

耶宵 (声のみ) もしもし？ はい。…：初めまして。はい。早坂耶宵です。

☆ こちらの部屋から台所の様子を窺っている真奈美のスマホへLINEが。

真奈美、スマホを見る。

耶宵 (声のみ) はい。え？ 内ポケットですか？ ええ、はい。…：はい。離婚届  
入ってます。

☆ 真奈美、驚いてドアまで行き、台所を覗く。

耶宵 (声のみ) …：林田玲子<sup>れいこ</sup>、さん。私、奥さんのお名前、初めて知りました。ええ。

それに関しては、大変申し訳なく思ってます。…：はい。申し訳ございません。  
ですから、玲子さん…：。自首してください。今から、警察へ通報しますので。  
…：できたら、最寄りの交番に行つて下さい。はい、はい。ええ。…：失礼します。

☆ しばらく沈黙。真奈美は、ずっとドアから台所を覗いている。…：程なくして。

真奈美 大丈夫？

耶宵 (声のみ) 誠一、離婚するんだって。

真奈美 …：そうね。

耶宵 (声のみ) それをウチに話すために、今日、佐世保に来たんだって。

真奈美 うん…：。

耶宵 (声のみ) でも…：、奥さんが、ウチに、一言、言ってやりたくて、誠一を追っか  
けて、佐世保まで来ちゃったんだって。

真奈美 待ち合わせの相手は、やっぱり奥さんやったったい。

耶宵 (声のみ) 二人で話し合って……、どうしても最後に、ウチの顔を見たいって、奥さんが食い下がって……、ココに来たんだって……。

☆ 耶宵、離婚届を持って、部屋に戻ってくる。

耶宵 でもさ、……今更だよな。

真奈美 ……だね。

耶宵 なんてかなあ……。なんで、男と女は、最後まであべこべなんだろう。

真奈美 だけんさ。小学校三年生から、男と女の間に、目に見えん壁ができるっさ。

耶宵 ……ウチも、奥さんに会って見たかったなあ。

☆ 耶宵、床に座り込む。

耶宵 ウチが言う事じゃなかけど、やっぱ、悪か事はしちやいかんね。

☆ 二人、顔を見合わせて、少し笑う。

真奈美 じゃあ、もう犯人は解ったとやし、警察に通報するよ？

耶宵 ……うん。

真奈美 大丈夫って！ あの遺言状はすぐに処分せんね。ウチも黙っとくし。

耶宵 ……：…：真奈美ちゃん。

☆ 耶宵、真奈美に縋り付く。

真奈美 なん？ どがんとしたと？ 大丈夫ね？

耶宵 ごめんね？ こがんに巻き込んで。

真奈美 ううん、そがんと良かつて！ ウチがちゃんと、警察に言うてやるよ。耶宵ちゃんは、何とか真犯人ば庇おうとして、通報に踏み切れんやったって。

耶宵 ウチ、こがん事になるとは思うとらんやったとよ。

真奈美 うん。解つとるさ。……耶宵ちゃんがしきらんなら、ウチが電話するけん。

☆ 真奈美、立ち上がり、固定電話まで歩く。

受話器に手を伸ばした途端、電話が鳴り始める。

真奈美 つわあ！ びびびび、ビククリしたあ！ もお、何でこのタイミング？ (電話を取る) はい、もしもし？ え、あ、はい。あー、はいはい。お世話になってます。

ええ。……え？ や、でも、そちらに行ってるんですよね？ あ、ちよっと待って下さい。(受話器を押さえて) ねえ、耶宵ちゃん。お義父さん、デイケアに行つるとよね？ 今ね施設から電話のあつて、今日はお休みやけん、明日のお迎えの確認ばつて……。

☆ 真奈美、そう言いながらも、言い知れぬ不安に襲われ、電話を切る。

真奈美 ……：…：お義父さん、デイケアに行つたとよね？

☆ 真奈美は奥の部屋へ続く襖を見て、恐る恐る、そこへ近付く。

真奈美 お義父さん……？ そこに居らすとですか……？

☆ 真奈美、ゆっくりと襖を開ける。

(客席からは見えないが)そこには、うつ伏している義父の姿が。

真奈美 うつ伏しとらすけど、……死んどると？

耶宵 知らん。ウチ、五番街から帰って、一度も、そこば開けとらんけん。

真奈美 え……？

耶宵 ……もう、あいは、ウチの知つとるお父さんじゃなか。

真奈美 ……。

耶宵 今朝ね、真奈美ちゃんが出掛けた後、ウチ、早う五番街に行きたくて。服ば買うと

も久しぶりやしき。なんか、一人であがんとこ行くとも、ちよっと緊張するけん、ソワソワしてしもうてね。そいとに、お父さんが、いつちよん言う事聞かん。いつも、ちよつとは愚図るけど、今日は手の付けられんぐらいに大暴れしてね。ウチの髪ば引っ張ったり、物ば投げてきたりしてき。……まるで動物やん。猿やん、猿！なんか、不思議な話、急に会おうって言うた誠一にムカついてしもうて。……うん。そがん男に会うとに、香水ば付けて、服ば買いに行こうとしよる自分にもムカついてしもうて。……そしたらさ、お父さんがふつと嫌な顔ばして、「お前、臭かぞ」って言うたと。そいで、プツンって、何かが切れてしもうて。……そいからは、どがんなったか知らん……。そのまま、放置して、五番街に行ったけん……。

☆ 真奈美、耶宵の背中に縋り付く。

耶宵 どがんムカついても、自分の父親やけん。……そがん思いよったけど。

真奈美 うん。解るよ。……そいはお義父さんが悪か。耶宵ちゃんのせいじゃなかよ。

耶宵 自分じゃ何もできん人ば放置しとけば、どがん事になるか解つとったけど、どうしても、今日は我慢できんかった。このまま……くたばれ！ っと思うた。そうじゃ

なかつたら、どこかに行つてしまえ！ っ。そいけん、勝手口、開けとったとに、お父さんは消えとらんし、誠一は、勝手口ば塞ぐように倒れとるし……。

真奈美 耶宵ちゃん、もう、何も言わんで良かよ。

耶宵 ……真奈美ちゃん、徹と別れるなら今の内ばい。

真奈美 え……？

耶宵 アンタはカワイかよ。

真奈美 バカッ、こがん時に、ナン言いよるとね？

耶宵 その服、よう似合うとる。

真奈美 なん言いよるとね、耶宵ちゃん。……ウチ、面接落ちたとばい？

耶宵 ……え？

真奈美 コンビニの面接。さつき、LINEのきてさあ。「女房が気付いてる」って。

耶宵 ……。

真奈美 「さよなら」って……。

耶宵 ……そうね。そいぎん、新しか出会えば求めて頑張らんね。

真奈美 いやあ、ウチ……、当分、男は良かごたん。

耶宵 ……そうやね。ウチも、しばらく良かごたん。……今から、警察に電話するけん。

さあて、なんて説明しようかな……。男と女の壁の話ばしても、警察はポカーンやろうしね。

真奈美

そうさ。どうせ警察も男やもん。

耶宵

……そうよねえ。……あーあ。ウチラは一生、言葉の通じん異星人と闘い続けんばいかんとよねえ。どうせ、何ば言うたって、世間では、「認知症の父親ば放置した娘」になつてしまふとやけんね。

真奈美

……ホントに死んどらすと？

耶宵

知らーん。……あーあ。結局、最後まで、お父さんから逃げられんやつた。あの日、お父さんが「耶宵、耶宵」つて追っ掛けてきたとは、一生、面倒ば見てもらうためやつたのかな……。やつたら、あん時、無理やりにも、あの海に飛び込めばよかつた……。

真奈美

……ううん。耶宵ちゃん。もうおじさんは追いかけて来られんよ。つてか、そもそも、おじさんは、ウチや耶宵ちゃんの居らんぎん、何もできんとよ？ ウチラが、あん人の運命場握つとると！

耶宵

そがん事言うても、もう遅かもん。

真奈美

遅くなんかなかさ！ ね！ 旅に出よう！

耶宵

……つえ？ どうした？

真奈美

あの家出の続きさ！ 今やつたら、ウチラ、どこにでも行けるとよっ？

☆ 真奈美、勢い込んで、隣の部屋（義父が倒れている部屋）へ飛び込んでいく。

耶宵

……旅に出たかとなら、アンタ一人で行って来んね。

☆ 真奈美、パスポートを持って戻ってくる。

真奈美

耶宵ちゃん！ ウチ、知つとるとよ？ 耶宵ちゃんが仏壇にパスポートば隠しとつた事！

耶宵

いやーん。勝手に見るなよお。

真奈美

どこかに行きたかつたつちやる？ この家から脱出しようと思つて、ずっと隠しとつたつちやるう？

耶宵

そうけど……。いやいや。このタイミングじゃなかやる？

真奈美

このタイミングさ！ よう見てみらんね？ もう、ウチラば邪魔する男は一人も居らんとよ？ ウチラは自由ばい？ ウチ、新婚旅行ん時にパスポート作つたけん、耶宵ちゃんと一緒に、どこまでも行くばい！

耶宵

どこまでもつて、どこに行くと？

真奈美

どこでも良かさ！ あの海ば越えて行くとばい！ ハワイでも、タヒチでも、グアムでも良かけんさ！

耶宵

あんた、知つとる地名ば言いよるだけやる？

真奈美

南の島が良かやる？ あとは、フィジーとかモルディブとか、ハミルトン島とか！

耶宵

あはは。どこ、そい？ 佐世保の海から繋がつとると？

真奈美

繋がつとるさ！ ウチラが望めば、どこにでも行けると！

☆ 二人、顔を見合わせて笑う。

真奈美

そうと決まれば、急ごうで！ そろそろ、リンダの奥さんが自首した頃やろうけん、

耶宵　もうすぐ警察の来る。脱出するなら今の内ばい？  
南の島かあ。ウチ…：水着なんか持たんばい？

真奈美　そうばい！　そいぎん、ハミルトン島に行く前に、五番街寄って、ビキニ買おう！  
耶宵　ビキニかよ！

真奈美　セクシーな水着ば買って、ハミルトン島でイイ男ゲットしよう！

耶宵　行先はハミルトン島に決まりね？　舌噛みそうなところやね？

真奈美　耶宵ちゃん、早う、今朝買ってきた服に着替えて来んね！

耶宵　いやいや、アンタの服と丸被りばい？

真奈美　よかって。流行りの双子コーデたい！　そんで、香水ばたっぷり付けて行こうで！

耶宵　そいはいかん。捨てていく男からもらった香水ばい？

真奈美　そうやね。また新しか男から買ってもらえばよか。

耶宵　あー、けど、ウチ、ロクな旅行バッグ持たん！

真奈美　そいぎん、行きがけに五番街で買ってくね？

耶宵　あんた、何でも五番街やね。

真奈美　ちようど良かった。五番街のTSUTAYAでハミルトン島の地図も買おう！

耶宵　あはは。買おう買おう！

☆　二人はひたすらに明るく喋り続け、そして、肩を叩いて笑い合う。

台所の勝手口には、リンダの死体。

襖の向こうには、うつぶせに倒れている父親。

出張中の徹は、明後日、この家へ帰ってくる。

だけど、二人は早坂家の茶の間を越えて、佐世保の海を越えて、

遠く、ハミルトン島の海を見ていた。

——その目は泣いているようにも見える。

二人の声に重なって、サイレンの音。

それでも、二人は泣き笑いを続けている…。

閉幕。